

令和3年度
東京都北区立赤羽台保育園
事業報告書

東京都北区立赤羽台保育園
指定管理者
社会福祉法人 茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

保育標準時間 7:15～18:15 保育短時間 8:30～16:30

② 実施事業

延長保育 18:16から20:15の2時間 1時間補食 2時間夕食提供

休日保育 年始1月1日～1月3日を除く日曜祝日

子育て支援 子育て相談 子育て情報の発信 親子わらべうたの会

③ 児童処遇

0歳児…ひよこ組 1歳児…うさぎ組・いちご組 2歳児…ぱんだ組・たんぼぼ組

3歳児…きりん組・こじか組 4歳児…はと組・つばめ組 5歳児…ほし組

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	12	38	38	38	38	38	202
3年4月	11	42	42	42	40	40	217
4年3月	12	42	42	41	40	37	214

④ 職員体制 (3/31時点) ※ () はパート職員

園長	1名	奥戸
主任保育士	1名	井上美
保育士	42名 (9)	千脇、佐野、眞壁、高田、川尻、廣瀬、金子、山口、清水那須野、前島、立花、上督、渡辺典、野村、高橋美、下地、山内、山室、渡辺琴、名塚、勝連、富田、佐々木、高橋梨、渡邊美、山本、太田、篠塚、宍戸、平田、中山、富塚、(大橋)、(小林)、(丸山)、(小池)、(荻山)、(中内)、(高橋順)、(藤岡)、(長澤)
保育補助	9名 (9)	(安東)、(石垣)、(小熊)、(西山)、(芳賀)、(長谷川)、(町田)、(渡辺)、(滝元)
栄養士	2名	酒井 田中
調理師	4名	小山、門脇、前田、井上真
調理補助	1名 (1)	(長谷川)
看護師	2名	岩田、大橋
事務員	2名	百地、松瀬
用務員	2名 (2)	(小名)、(村上)

2. 年間行事実施状況

4月	進級式 入園式 内科検診 (全園児) 田んぼどろんこ遊び (4・5歳児)
5月	子どもの日の集い
6月	歯科衛生指導 (5歳児) 保育参観(乳児)期間
7月	七夕 引き渡し訓練
8月	夏祭り (3・4・5歳児)
9月	引き渡し訓練

10月	運動会 歯科検診(全園児) 芋ほりバス遠足(4・5歳児) スクールコンサート
11月	保育参観(乳児)期間 尿検査(幼児) 焼き芋パーティー(4・5歳児) 引き渡し訓練
12月	おおきくなったねの会(3・4・5歳児) お楽しみ会
1月	
2月	
3月	ひなまつり会 活け花(5歳児) お別れカレーパーティー(5歳児) お別れピクニック(5歳児) 引き渡し訓練 卒園式

3. 職員研修実績 【外部研修】

月	件数	参加者
4月	0件	
5月	0件	
6月	16件	上督、勝連、金子、小山、佐野、宍戸、清水、高田、高橋美 立花、田中、那須野、野村、山室、渡辺琴、渡辺典
7月	5件	金子、佐野、清水、高田、那須野
8月	7件	金子、川尻、佐野、宍戸、清水、千脇、眞壁
9月	4件	金子、高田、千脇、百地
10月	5件	岩田、川尻、名塚、眞壁、渡辺典
11月	6件	井上美、奥戸、川尻、千脇、廣瀬、渡辺典
12月	4件	岩田、大橋麻、百地、渡辺典
1月	12件	岩田、大橋麻、佐々木、下地、高橋美、立花、平田、眞壁、百地 山内、山口、渡辺典
2月	0件	
3月	0件	
年1回		法人 新採用職員研修・パワーハラスメント研修

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議・給食会議	正職員	毎月1回
保育内容検討会議	各クラス担任	毎月1回
乳児会・幼児会	各クラス担任	毎月1回
巡回指導による要支援児会議	各クラス担任	年10回
園内研修 1・2・3年目職員研修	1・2・3年目職員	年4回
4・5・6年目職員研修	4・5・6年目職員	年3回
キャリア職員研修	7年以上職員	年3回
救命救急研修	全職員	年1回
保健衛生研修	正職員	年12回
こどものとも社 オンライン研修	全職員	年6回

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和3年度（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日」参照。

5. 評価および反省

<保育業務のICT導入>

コドモンの本格利用をスタートし、登降園管理、保護者への連絡、お知らせ、保育計画、児童票、日誌など職員間で会議を重ねながら、その仕様を学び、徐々に移行した。ICTを導入したことで、コロナ禍での感染防止のお願いや休園などのお知らせをスムーズに配信できた。保護者の保育室への入室を禁止としたが、保育中の様子を動画で配信したことで「子ども達の様子が見られて嬉しい」と好評であった。また、保育書類の作業効率が上がり、保育士の業務削減になった。年度末の利用者満足度アンケートにも多くの保護者からICT導入は「スマホに届くので見易い、園への連絡も簡単になった」と高評価をいただいた。

<新型コロナウイルス感染状況及びコロナ禍での保育>

コロナ禍2年目の保育、北区新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに添って、感染防止を行った。他施設との交流などは中止としたが、子ども達の成長を讃える行事（運動会、おおきくなったねの会）は、歳児別、クラス別とし、保護者が安心して参加していただけるように工夫して行った。また日常の保育でも感染を防ぐために異年齢保育交流は控えた。令和3年度は、園児、職員の陽性者発生と共に休園が12、1、2月と3回あった。休園中は、衛生消毒の徹底を行い、また、こどものとも社のオンライン研修をグループに分けて全員で受講し、専門職としての意識を高め合えた。保護者からは、概ね職員を気遣っていただき温かなメッセージをいただいたが、休園で不安を持たれた保護者には、感染防止の取り組みをお伝えしてご理解をいただいた。

<子どもの最善の利益へ >

園理念の「一人ひとりの子どもを大切に 子どものための保育園へ」の精神のもとに、個々の人格を尊重し、生活や遊びを通して健やかで豊かな育ちを支えるために、乳児は、担当制保育を行い、幼児組は、遊びと生活の環境を大切にした。五感で遊ぶアネビー社の「学びの壁」「全身ミラー」などを設置した。特に特別支援認定児が9名、支援を必要とするお子さんが増えた中で個々の特性や発達に応じた活動が出来るように保育士の配置を行った。また、保護者と面談を重ねて、療育など各関係機関へとつながりが持てるように努めた。

マルトリートメント・虐待など要保護児童については、計4回、東京都北児童相談所より連絡があった。どのケースも深刻な問題ではなく、調査員が家庭訪問を行い、終了となっている。今後も多様化する各家庭の実情を踏まえて、保護者に寄り添いながら、園が親子の安心の場となるように保育園としての役割を果たしていきたい。

<保育者採用、職員の健康について>

長期的に安定した園運営に向けて、正規職員の採用に力をいれた。養成校との信頼を築き、様々な採用活動を行った。産業医と連携を取りながら職員の心身の健康にも目を届けることができた。今後も職員の定着を目指し、働き易い労働環境を整えていきたい。